1学年　Sakura Time ～あおもり創造学～

あおもり創造学を取り組んできた先輩の発表会の様子が，陸奥新報に掲載されました。

身近な疑問 探究成果は

弘中央高生が活動発表会

弘前

弘前中央高校（伊藤文一校長）で21日、3年生の探究活動発表会が開かれた。身近な疑問から社会課題まで、自ら選んだテーマについて探究した成果を堂々と発表した。

1年時から「総合的な探究の時間」の授業があり、生徒は興味関心に従いテーマを設定。仮説を立て、論文を読んだり大学に取材したりして情報を収集して検証する。学年ごとに発表会を開いており、3年生は集大成として内容を論文にまとめる。

発表会では、聞き手の下級生を交えたグループをつくり、発表者がタブレット端末を使って探究過程や検証の結果、新たに生まれた問いなどについて説明。発表後には質疑応答を行った。

「障害者雇用を増加させるためには」とのテーマで発表した舘山陽向さんは、「探究活動を通じて自分の考えが狭かったことが分かり、新たな発見があった」とし、「将来は法に関わる仕事がしたい。障害者雇用に関する法制度の整備について論文にまとめることができたら」と意気込んだ。（鈴木滋）

探究活動の成果について発表する生徒ら

陸奥新報　2026 年 5 月 29 日（金）掲載

この画像は，当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。